

本時のねらい

- 江戸幕府が長く続いた理由について、自分の考えを持つ。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- 前時までの学習で作成したデータをクラウドに保存し、自身の成果物に生かす。
- シンキングツールを活用し、生徒の考えを「見える化」する。また、自他の考えを比較し、自身の学びを深める。

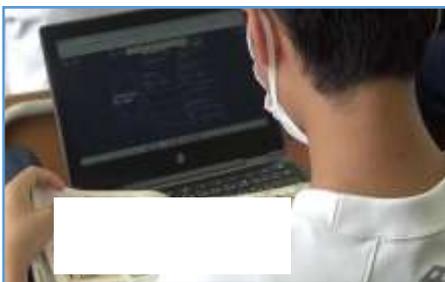
活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- 学習支援ソフト（ロイノート）
- 電子黒板

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを確認する。 「江戸幕府が長く続いた理由について自分の考えを持つ。」 ○フィッシュボーン図を使い、江戸幕府が長く続くに至った要因を書きだす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの活動で書き溜めたフィッシュボーン図を提示させ、今までの学習を振り返らせる。 ・前時までに書いた内容を確認し、書き換えも同時に行うよう声をかける。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○個人作業で作成したフィッシュボーン図を共有する。 【写真1】 ○他の生徒と自身のフィッシュボーン図を比較し、参考にできる意見は、自身のフィッシュボーン図に反映させる。 【写真2】 ○フィッシュボーン図からピラミッドチャートに切り替え、江戸幕府が長く続いた理由の順位付けに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の生徒の意見を参考にする際は、自身の意見とは区別するよう声をかける。 ・提出された意見から特に注目すべきものがあれば、教員が電子黒板に写すなどして、意識づけを行う。 ・順位付けの際は、今までの学習内容を振り返りながら作業に取り組むよう指示する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ピラミッドチャートで1番上に置いた理由に対して、なぜその理由を1番にしたのかの理由を書いて提出する。 【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由を書くのが難しい生徒には、他の生徒が書いた意見を参考にしよう声をかける。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】教科書を見ながらフィッシュボーン図に必要な情報を入力する様子



【写真2】他の生徒が作ったフィッシュボーン図を見て、意見を比較している様子



【写真3】江戸幕府が続いた理由と、その根拠をまとめている様子

児童生徒の反応や変容

- ・他者参照が容易にできることで、学習に課題がある生徒もスムーズに授業に参加することができた。
- ・課題解決型の授業に取り組むことで、教科書などを自ら読み進め、自発的に学習を進める生徒が多くみられた。
- ・複数の情報を関連付けてまとめようとする生徒もおり、シンキングツールによる思考の「見える化」を意識させることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

シンキングツールを使うことで生徒の思考の流れを「見える化」でき、授業後の評価にもつなげやすい活動となった。生徒によっては歴史分野の学習に苦手意識をもつ生徒もいるが、学習支援アプリの情報共有機能を活用することで、他者の考え方を見たり、参考にできる機会を作りやすく、多くの生徒が授業に積極的に参加できていた。また情報を取捨選択したり、自身の考えをまとめる活動を通して、情報活用能力を高めることにもつながった。

本時で育む主な情報活用能力

C-STEP4, K-STEP4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。

